

令和4年度 横浜マイスターを選定

横浜市では、平成8年度から、市民の生活・文化に寄与する卓越した技能職者の方を「横浜マイスター」に選定する事業を行っています。

横浜マイスターは、学校や地域の行事などで広く技能の魅力を伝えたり、後進を育成し貴重な技能を継承するための活動などを行っています。

このたび、横浜マイスター選考委員会（委員長：松留 慎一郎氏 職業能力開発総合大学校 名誉教授）における厳正な選考を経て、第27期となる令和4年度の横浜マイスターとして、新たに2名を選定しました。

これにより、事業開始以降、選定された横浜マイスターは、総勢68名となります。

◆ 令和4年度選定（第27期） 横浜マイスター

(50音順)

職種	氏名	年齢	勤務先
活字鋳造	大松 初行 さん (おおまつ はつゆき)	78歳	株式会社築地活字 (南区吉野町5丁目28-2 三進興業ビル1階)
表装(壁装)	山崎 隆 さん (やまさき たかし)	54歳	株式会社サンユウ (港北区新吉田東1-71-5)

※プロフィール及び技・活動の紹介は裏面参照

【この5年間の選定状況】

年度	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	平成8年度～ 令和4年度累計
選定者数	1人	3人	3人	2人	2人	68人(※注)

※注 うち物故者は18人(令和4年8月22日時点)

活字鑄造 大松 初行さん

<プロフィール>

高校卒業後、昭和 38 年に株式会社築地活字の前身である「株式会社築地活版」に入社、文選（鑄造済の活字を大量の在庫から拾う作業）や営業を経験した後に、鑄造部門に配属。その後は活字鑄造の傍ら、活版印刷にも長年取り組んだ。

<技・活動の紹介>

印刷方式の 1 つである活版印刷は、印刷時に版が紙と接触してできる物理的な凹凸や、インクのムラなどが独特の風合いをもたらすことから、近年再び注目されています。この活版印刷に使用する文字が「金属活字」です。昭和中期に製造された活字鑄造機の設定を細かに調整しつつ、鑄造される金属活字のサイズや中心が揃っているかを視覚と手の感覚で確認しています。

金属活字は主に活版印刷業者へ販売していますが、一般向けの活字製品である「活字カレンダー」や「活字ホルダー」にも使用されており、また、事業所にて 1 日体験会や活字鑄造・基礎コースを実施するなど、活字の魅力を伝える活動にも力を入れています。



表装（壁装） 山崎 隆さん

<プロフィール>

高校卒業後、不動産仲介業の会社員時代に、現場で壁紙を張る仕事に興味を持つ。平成 8 年から約 4 年間の修行の後、一人親方として独立し、令和 3 年に株式会社サンユウを設立。平成 21 年横浜市優秀技能者表彰受賞。表装（壁装作業）1 級表装技能士。登録内装仕上工事基幹技能者。

<技・活動の紹介>

輸入壁紙、珪藻土壁紙、デジタルプリント壁紙など特殊な材料の張りが高く評価されています。ビニル、紙、織物など多様な材料の壁紙に対して、柄の配置、糊の濃さやオープンタイム（糊を材料に塗布してから壁に張るまでの待ち時間）の調整、材料の伸び具合を見極めることで、美しい状態が長く維持できるよう仕上げています。

また、後進の育成においても熱心に取り組んでおり、所属する横浜市建設労働組合連合会では近隣の小学校で親子工作教室、高校で職業体験教室を行うなど、壁紙を貼る仕事の魅力を伝える活動にも力を入れています。



過去に選定されたマイスターの動画等は、以下のページに掲載しております。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/ginou/meister.html>

お問合せ先

経済局雇用労働課長

卯都木 優子 Tel 045-671-2303

※本件は横浜経済記者クラブへも同時発表しています。